

冬の暖房 ～床暖房と冬の温度管理～

心地よい暖房と言えば、最近話題の薪ストーブや暖炉などもありますが、床暖房が思い浮かぶ方も少なくないようです。部屋の中の空気を足元からじんわりと暖めてくれて気持ちの良いものですが、これは人だけでなく、ワンちゃんにとっても良いことがたくさんありそうですね。

床暖房のある暮らし

床暖房は、空気が汚れないので換気をしなくてもよく、温風が吹かないため皮膚が乾燥してフケになりやすく、抜け毛やホコリを舞い上げるといったこともありません。また、近づきすぎて危ないということもなく、器具やコードが露出しないため部屋が広々使えるのも嬉しいところ。カラダもココロもほんわかあったまり、快適です。

床暖房は愛犬との暮らしにはもってこいの暖房といえそうですが、気をつけてあげなければならぬこともあります。ワンちゃんが普段いる場所を床暖房にする場合は、全面ではなく、床暖房のついていないところもつくり、体が熱くなったときに移動して、少し熱を冷ます場所を設ける事をオススメします。寒くなったらまた暖かい床に移動できます。

これが、子犬や老犬になると、熱くなりすぎていることに気がつかないまま熟睡してしまい、ときには低温やけどを起こしてしまうこともあります。そのような場合は、飼い主さんが時々様子を見て移動させてあげることが必要です。また、水分がいつでも取れるように、新鮮なお水が常にフードボウルにあるように気をつけてあげましょう。

冬の温度管理と健康

人間と違い、毛皮を着ている犬にとっては、適温での暮らしにはデメリットもあります。あまりにも快適な環境で暮らし続けていると、体温調節が下手になり、少しの温度変化にもついていけず、体温調節不良を起こしてしまうこともあります。また、換毛のタイミングが分からなくなり、季節に合わせた抜け変わりがうまくいなくなることも。

この快適すぎる住環境については、ひょっとしたら人間にも同じことが言えるかもしれませんね。

寒くても、ちょうど良い時間を見つけ、一日に一回はワンちゃんと外に出て、外気を吸って気分転換。季節を味わって、冬を楽しみましょう。



Mini Column

床暖房にはどんな種類があるの？

床暖房の種類はたくさんありますが、大きく分けると電気式と温水式になります。種類によって初期費用やランニングコストが大きく違ってくるので、暮らし方に合ったものを選ぶことがポイントです。

たとえばリフォームで床暖房を設置する場合、電熱線で発熱するシートを床下に敷き込む方式のものは施工が簡単。初期費用は安くすみませんが、ランニングコストは高めですので、狭い面積で短時間使う場合に向いています。

それに対し、温水を循環させるタイプは、給湯器の設置や配管工事など費用がかかりますが、ランニングコストは安く済みます。愛犬と暮らすご家庭のように、リビング・ダイニングなど広い面積で長時間使う場合は、温水式床暖房がオススメです。また、温水式は電気式に比べ、低温やけどをおこす心配がほとんどないのも利点です。

わんちゃん募集！！

毎月リファインおおがきのチラシにて可愛い家族わんちゃんの写真を載せていきたいと思っています。いただける方はぜひご連絡をお待ちしています。撮っていただいた写真のデータをいただくか、私達がお伺いして撮影させていただきます。

Panasonic リフォーム Club
リファインおおがき

株式会社イッシン

〒503-0917 大垣市神田町1丁目76

TEL:0584-82-3611

FAX:0584-82-3633

URL: <http://issin.reform-c.jp> E-mail: info@issink.jp

建設業許可/岐阜県知事許可(第-24)第12834号 一般建設士事務所登録/岐阜県知事登録第8828号



施工例紹介

自然素材に囲まれた空間で暮らす、
愛犬にも人にも優しい二世帯住宅のカタチ。



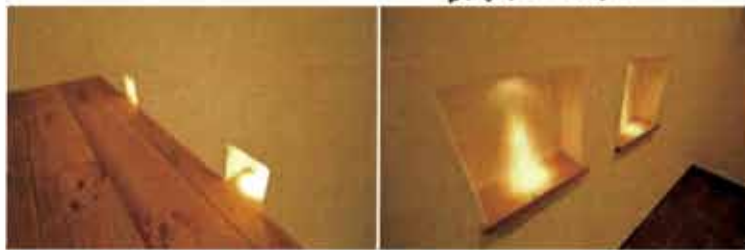
愛犬家の方であれば「愛犬が暮らしやすい家にしてあげたい」と言誰もが考えられると思いますが、それと同時に「自分自身や家族にとって暮らしやすさ」という点も考えなければなりません。実際の家づくりではまずは自分や家族にとって暮らしやすい家を基準に打合せを進めていき、その上で愛犬にとっても暮らしやすい環境、健康に暮らすことのできる環境を検討するというケースが多いと思います。今回ご紹介するお家は、チワワ2匹とトイプードル1匹と一緒に暮らすご家族の家づくり。外観はスタイリッシュなデザインに仕上げ、室内は自然素材をふんだんに使い、照明デザインにもこだわることによって愛犬との豊かな暮らしを目指しました。



リビングダイニングの一角にある階段下のスペースを利用して設置された愛犬専用の居場所には、消臭効果バツグンの壁材(自然素材)を使用。床面はタイルを採用することで、掃除もしやすく、デザイン面でもお洒落な空間になりました。室内全体も自然素材を出来るだけ活用して、より快適な空間を演出。無垢材の床や壁材を採用し、愛犬にも自然素材の温もり、居心地の良さを感じてもらいたいというお施主様の願いが詰まっています。



いつでも遊べる自宅ドッグラン
玄関横にある2坪ほどのスペースを活用して、小型犬用ドッグランを設置。コンパクトながらも芝生フェンスをしっかりと設えた造りになっており、お友達のワンちゃんとも安心して遊べる、愛犬家ライフを楽しめる場所になっています。



照明の工夫で快適な暮らしを実現

照明には、電球色を各所に採用し、ほんのりとした火灯りや優しい雰囲気を出しました。また、愛犬の足元を照らすために、廊下の壁面には床面に照明を設置し、暗くならないように工夫もしています。実際には、犬は暗闇での認識力は人間の5倍ほどある(犬種による違いはある)と言われていますが、「さびしい」と感じて吠えてしまう場合もあるため、最小限の灯りを用意しました。



寒くなる玄関空間にちょっとした工夫

今回のお宅は、二世帯住宅ということもあり、玄関が広めに設計されています。また、玄関奥にはシューズクローゼットもあるため、冬になると玄関が寒くなってしまうということで、壁掛け用のパネルヒーターは風を発生させることもないため、ホコリが舞い上がる心配もなく、また綺麗な空気を保つことのできるため、お子さまや愛犬にとっても優しい暖房器具と言えます。冬の寒さが厳しい地域では、パネルヒーターの設置を検討されるのもよいかもしれません。

- 🐾 保つことのできるため、お子さまや愛犬にとっても優しい
- 🐾 暖房器具と言えます。冬の寒さが厳しい地域では、
- 🐾 パネルヒーターの設置を検討されるのもよいかも
- 🐾 しれません。